

MARUYAMA REPORT 2014

第79期 報告書

2013.10.1 ▶ 2014.9.30

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2014年9月期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長
尾頭 正伸



▶ 決算ハイライト

■ 売上高 前期比
35,822百万円  9.0%増

■ 営業利益 前期比
1,931百万円  12.4%増

■ 経常利益 前期比
1,586百万円  6.1%増

■ 当期純利益 前期比
644百万円  22.9%減

CONTENTS

株主の皆様へ……………	P1	株式情報……………	P8
連結セグメント別の概況……………	P3	会社情報……………	P9
連結財務諸表……………	P5	株主メモ……………	P10
新製品のご紹介……………	P7		

▶ 2014年9月期における事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果が下支えとなり、企業収益、雇用情勢に改善がみられ、日経平均株価の上昇に伴う株式市場の活況など、景気の回復傾向がみられました。一方、海外景気も、米国に回復がみられ、アジアも緩やかながら拡大傾向にあり、欧州でも持ち直しがみられました。しかしながら、国内におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動などにより、個人消費、設備投資に弱い動きがみられ、海外におきましては、米国の金融緩和の縮小、中国の金融市場の動向など、景気の下振れリスクが残っております。

当社グループの主力事業である農林業用機械市場全体での出荷・生産実績は、国内におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要、海外におきましては、円安効果などにより、前年に対し国内、輸出向けとも増加いたしました。しかしながら、農業従事者の減少や高齢化、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化、米国の金融緩和の縮小などにより、市場を巡る企業間競争は国内外とも引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、国内におきましては、前期に販売を開始したキャビン付ハイクリブームなどを中心に、積極的な営業活動を展開することにより販売の拡大に努めてまいりました。一方、海外におきましては、新たな海外販路の開拓と販売の拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、国内におきましては、好評を頂いておりますハイクリブームを中心に大型製品が増加したことなどにより、国内売上高は27,811百万円(前期比5.0%増)となりました。また、海外におきましては、景気回復や円安効果などにより、北米、欧州向けを中心に増加したため、海外売上高は8,010百万円(前期比25.5%増)となり、売上高合計は35,822百万円(前期比9.0%増)となりました。利益面では、販売費、物流費の増加はありましたが、売上高の増加により、営業利益は1,931百万円(前期比12.4%増)、経常利益は1,586百万円(前期比6.1%増)となりました。一方、当期純利益は、連結子会社において、売却を予定している固定資産について、減損損失を計上したことなどにより、644百万円(前期比22.9%減)となりました。

▶ 2015年9月期の見通しについて

今後につきましては、国内におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化、政府の農業政策の変化、TPP問題、海外におきましては、為替変動などにより、当社グループの事業を取り巻く環境は大きく変動しております。

このような状況の中、当社グループは①国際競争力の強化、②組織機能の強化、③販売の強化、④財務体質の強化を重点課題として取り組み、引き続き企業体質の強化ならびに収益力の向上に努めてまいります。

次期の業績予想につきましては、連結売上高37,000百万円(前期比3.3%増)、連結営業利益1,850百万円(前期比4.2%減)、連結経常利益1,600百万円(前期比0.8%増)、連結当期純利益950百万円(前期比47.4%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
第 2 四 半 期 業 績 予 想 (2015年9月期)	15,000	500	350	100	—
通 期 業 績 予 想 (2015年9月期)	37,000	1,850	1,600	950	4

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

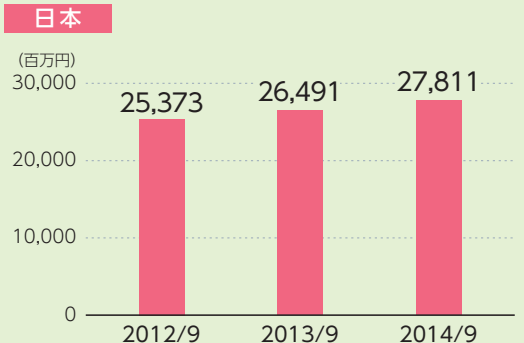
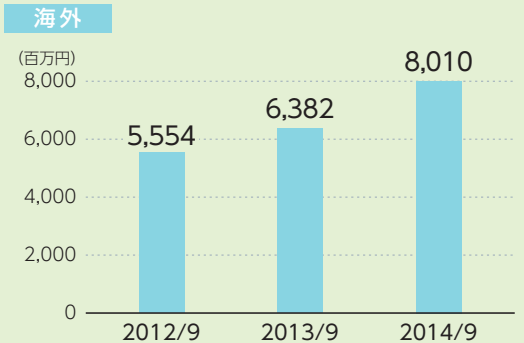
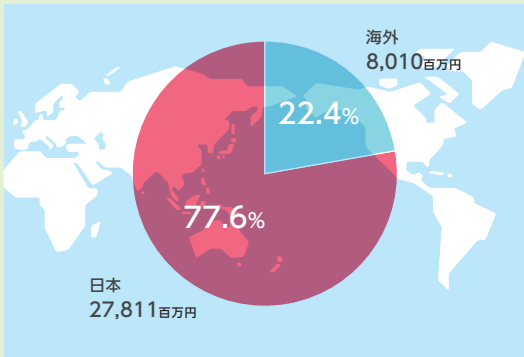
M 連結セグメント別の概況

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用 機械	農林業用機械 74.8% 売上高 26,811百万円	売上高 (百万円) 営業利益 (百万円) <table><thead><tr><th></th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr></thead><tbody><tr><td>2012/9</td><td>22,744</td><td>1,716</td></tr><tr><td>2013/9</td><td>24,899</td><td>2,002</td></tr><tr><td>2014/9</td><td>26,811</td><td>2,155</td></tr></tbody></table>		売上高	営業利益	2012/9	22,744	1,716	2013/9	24,899	2,002	2014/9	26,811	2,155	●噴霧機 ●散布機 ●刈払機 ●チェーンソー ●その他	売上高(前期比) 7.7%増 営業利益(前期比) 7.6%増 国内におきましては、大型製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。また、海外におきましても、刈払機などの林業機械が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は26,811百万円(前期比7.7%増)、営業利益は2,155百万円(前期比7.6%増)となりました。
	売上高	営業利益														
2012/9	22,744	1,716														
2013/9	24,899	2,002														
2014/9	26,811	2,155														
工業用 機械	工業用機械 15.5% 売上高 5,539百万円	売上高 (百万円) 営業利益 (百万円) <table><thead><tr><th></th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr></thead><tbody><tr><td>2012/9</td><td>4,995</td><td>680</td></tr><tr><td>2013/9</td><td>4,875</td><td>986</td></tr><tr><td>2014/9</td><td>5,539</td><td>1,139</td></tr></tbody></table>		売上高	営業利益	2012/9	4,995	680	2013/9	4,875	986	2014/9	5,539	1,139	●工業用高圧ポンプ ●高圧洗浄機	売上高(前期比) 13.6%増 営業利益(前期比) 15.4%増 国内におきましては、前期並みとなりましたが、海外におきまして、景気回復や円安効果などにより、北米・欧州向けを中心に工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は5,539百万円(前期比13.6%増)、営業利益は1,139百万円(前期比15.4%増)となりました。
	売上高	営業利益														
2012/9	4,995	680														
2013/9	4,875	986														
2014/9	5,539	1,139														
その他の 機械	その他の機械 9.1% 売上高 3,259百万円	売上高 (百万円) 営業利益 (百万円) <table><thead><tr><th></th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr></thead><tbody><tr><td>2012/9</td><td>2,969</td><td>75</td></tr><tr><td>2013/9</td><td>2,904</td><td>△99</td></tr><tr><td>2014/9</td><td>3,259</td><td>△107</td></tr></tbody></table>		売上高	営業利益	2012/9	2,969	75	2013/9	2,904	△99	2014/9	3,259	△107	●消火器 ●防災関連機器 ●環境衛生用機械 ●その他	売上高(前期比) 12.2%増 営業損失(前期比) (前期は営業損失) 99百万円 消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は3,259百万円(前期比12.2%増)、営業損失は107百万円(前期は営業損失99百万円)となりました。
	売上高	営業利益														
2012/9	2,969	75														
2013/9	2,904	△99														
2014/9	3,259	△107														
不動産 賃貸他	不動産賃貸他 1.6% 売上高 557百万円	売上高 (百万円) 営業利益 (百万円) <table><thead><tr><th></th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr></thead><tbody><tr><td>2012/9</td><td>450</td><td>237</td></tr><tr><td>2013/9</td><td>508</td><td>262</td></tr><tr><td>2014/9</td><td>557</td><td>298</td></tr></tbody></table>		売上高	営業利益	2012/9	450	237	2013/9	508	262	2014/9	557	298	●不動産賃貸 ●売電事業	売上高(前期比) 9.6%増 営業利益(前期比) 13.5%増 不動産賃貸他の売上高は557百万円(前期比9.6%増)、営業利益は298百万円(前期比13.5%増)となりました。 なお、不動産賃貸他では、当社で千葉工場の敷地内に「太陽光発電設備」を設置し、1月より「売電事業」を開始いたしました。
	売上高	営業利益														
2012/9	450	237														
2013/9	508	262														
2014/9	557	298														

※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

海外の売上高の状況

売上高の地域別構成比



▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2013年9月30日現在)	当 期 (2014年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	22,568	21,282
固定資産	11,380	11,449
有形固定資産	7,855	7,619
無形固定資産	48	179
投資その他の資産	3,476	3,650
資産合計	33,948	32,732

Point
①

Point ① 資産合計

当連結会計年度末における資産総額は32,732百万円となり、前連結会計年度末より1,215百万円減少いたしました。これは、投資有価証券は期末日にかけての時価の上昇などにより増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

Point ② 負債合計

負債総額は18,490百万円となり、前連結会計年度末より1,731百万円減少いたしました。これは、長期借入金増加はありましたが、支払手形及び買掛金、電子記録債務ならびに短期借入金減少したことなどによるものであります。

Point ③ 純資産合計

純資産は14,242百万円となり、前連結会計年度末より515百万円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金および利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

Point
②

Point
③

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2013年9月30日現在)	当 期 (2014年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	13,426	10,658
固定負債	6,795	7,831
負債合計	20,221	18,490
純資産の部		
株主資本	13,129	13,430
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	4,105	4,482
自己株式	△152	△228
その他の包括利益累計額	597	811
純資産合計	13,726	14,242
負債及び純資産合計	33,948	32,732

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)	当 期 (2013年10月1日～ 2014年9月30日)
売上高	32,873	35,822
売上原価	23,787	26,003
売上総利益	9,085	9,818
販売費及び一般管理費	7,367	7,887
営業利益	1,718	1,931
営業外収益	171	119
営業外費用	395	464
経常利益	1,494	1,586
特別利益	2	0
特別損失	62	392
税金等調整前当期純利益	1,434	1,194
少数株主損益調整前当期純利益	836	644
当期純利益	836	644

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)	当 期 (2013年10月1日～ 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,577	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,259	△1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391	△480
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	992	△300
現金及び現金同等物の期首残高	2,068	3,061
現金及び現金同等物の期末残高	3,061	2,760

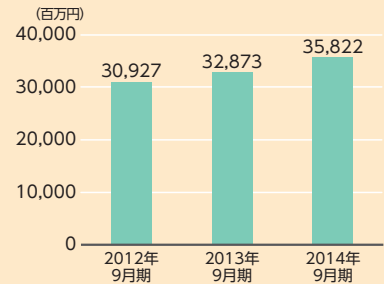
Point
④

Point ④ 現金及び現金同等物の期末残高

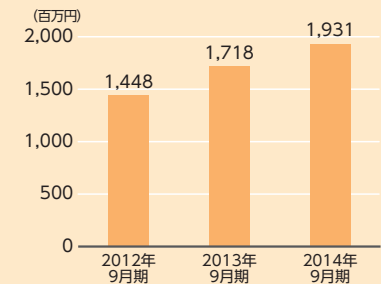
前連結会計年度と比べ、投資活動は有形固定資産の取得による支出の減少等により増加いたしました。しかしながら、営業活動では、仕入債務の減少等、また、財務活動についても、短期借入金および社債の発行による収入の減少により、当連結会計年度の現金及び現金同等物は前連結会計年度と比べ300百万円減少いたしました。

▶ 連結業績の推移

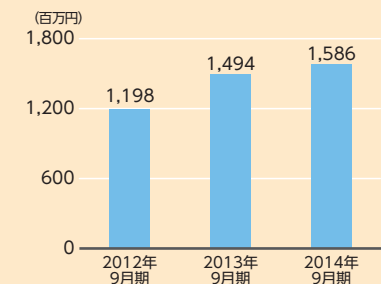
●売上高



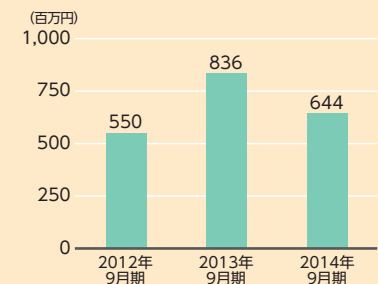
●営業利益



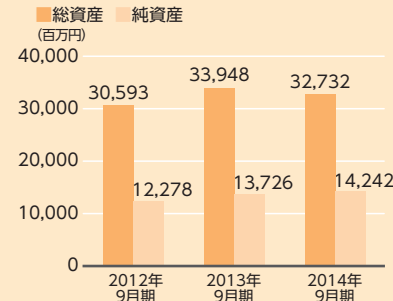
●経常利益



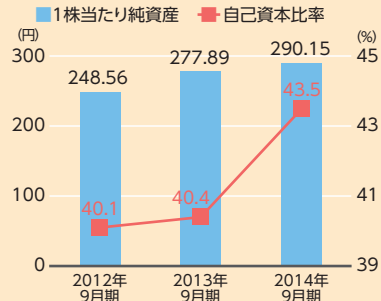
●純利益



●総資産・純資産



●1株当たり純資産・自己資本比率



ハイクリブーム BSA-500JS/JE-120

引っ張る防除から“乗る”防除へ

ご好評いただいておりますハイクリブームに≪120TH ANNIVERSARY MODEL≫が登場

防除効果を高めるとともに飛散防止にも効果がある『ぴたっとアーム』など

周辺環境にも配慮した充実の機能。

120周年を記念してさらにお求めやすい価格となりました。



高圧洗浄機 MKW807MD (50Hz/60Hz)

国内生産、高耐久クランク式プランジャーポンプ搭載の100Vモーター洗浄機です。

キャスタータイプ、大型ハンドルで取り回しが楽に行えます。

また、ソーブタンクを装備しておりますので洗剤洗浄も可能です。



ハイパワー&エコノミーのエンジンチェーンソー MCV3501

排ガス規制対応のリサーキュレーター方式ecoエンジンを搭載。燃焼効率が良く、高出力・低燃費を達成しました。

チェーン張りが簡単なeジャストやチェーンが掛けやすいインポートクラッチの採用など、数々の『使いやすさ』を追求したチェーンソーです。



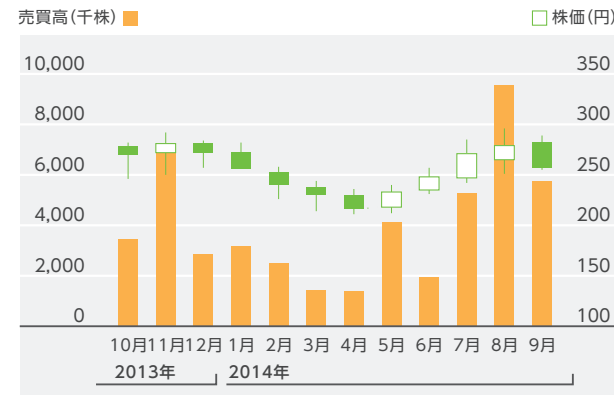
▶ 株式の状況

発行可能株式総数	139,061,000株
発行済株式の総数	50,293,328株 (自己株式1,207,634株を含む。)
株主数	6,135名
大株主(上位10名)	

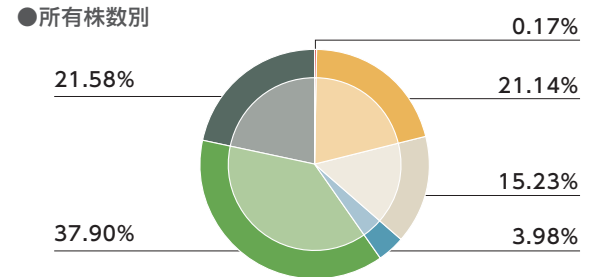
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	2,100	4.28
農林中央金庫	2,052	4.18
株式会社千葉興業銀行	1,625	3.31
みずほ信託銀行株式会社	1,400	2.85
クレディスイスルクセンブルグエスエー オンビハーフオブクライアーツ	1,390	2.83
丸山製作所取引先持株会	1,187	2.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,098	2.24
株式会社クボタ	954	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	827	1.68
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	767	1.56

(注) 1. 持株比率は自己株式(1,207,634株)を控除して算出しております。
2. 当社は、平成23年8月9日開催の取締役会において、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議し、平成23年9月2日から平成23年9月7日にかけて資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式524,000株を取得しております。なお、平成26年9月30日現在において信託E口が所有する当社株式521,000株を自己株式数に含めております。

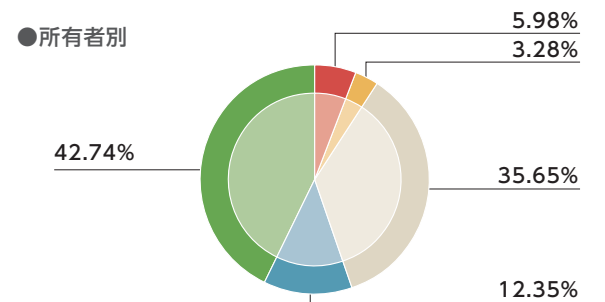
▶ 株価および株式売買高の推移



▶ 株式の分布状況



1千株未満	585名	85,782株
1千株以上10千株未満	4,997名	10,630,708株
10千株以上50千株未満	468名	7,659,693株
50千株以上100千株未満	30名	2,003,104株
100千株以上1,000千株未満	48名	19,059,821株
1,000千株以上	7名	10,854,220株



外国法人等	3,006千株
証券会社	1,649千株
金融機関	17,931千株
その他国内法人	6,209千株
個人その他	21,498千株

▶ 会社の概要 (2014年9月30日現在)

商号	株式会社丸山製作所
英名	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業、売電事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
海外関係会社	マルヤマU.S., INC.、マルヤマ（タイ）CO., LTD.、丸山（上海）貿易有限公司、山東秋田丸山機械股分有限公司
従業員数	517名
グループ従業員数	910名
工場	千葉工場、東金第二工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業所	北海道、秋田、北東北、南東北、福島、新潟、甲信、茨城、北関東、千葉、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、四国、福岡、熊本、南九州

▶ 役員の状況 (2014年9月30日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭利博	
専務取締役	鎌倉本	管理本部長
常務取締役	杉本	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	遠藤	営業本部長
取締役	松田	量産品事業部長
取締役	山田	品質もののづくり統括部長
取締役	石村	営業推進統括部長
取締役	内山	経営企画室長
取締役	小松	社外取締役
常任監査役（常勤）	砂山	社外監査役
監査役（常勤）	三輪	
監査役	土岐	
監査役	税所	
	正	
	明	

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 お問い合わせ先、郵便物送付先	みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）
未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告（当社ホームページhttp://www.maruyama.co.jp） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

単元未満(1株から999株)株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。
詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例（1,600株ご所有の場合）





見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。